

【これは速報であり、数値等は今後も変わることがある】

## 福岡県・大分県等の大雨について

平成29年7月7日（09：00）現在  
官 邸 対 策 室

### 1. 気象の概況

（気象庁：7月7日07:00現在）

#### （1）気象の概況

- 梅雨前線は、西日本に停滞しており、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んでいるため、西日本では大気の状態が非常に不安定になっている。九州では、断続的に雷を伴って、1時間に50ミリ以上の非常に激しい雨が降っているところがある。
- 今日7日7時までの1時間の最大雨量は、福岡県朝倉（あさくら）で129.5ミリ、長崎県芦辺（あしべ）で93.5ミリ、高知県大柵（おおどち）と大分県日田（ひた）で87.5ミリの1時間降水量を観測するなど猛烈な雨となったところがある。
- 今日7日7時までの24時間の最大雨量は、福岡県朝倉で545.5ミリ、長崎県芦辺で432.5ミリ、大分県日田で370.0ミリとなるなど、九州北部地方では350ミリを超える記録的な大雨となっている地域がある。

#### （2）大雨の状況と今後の見通し等

- 梅雨前線は明日8日にかけて西日本に停滞するため、九州を中心に断続的に1時間に50ミリ以上の非常に激しい雨が降り、大雨となるところがある見込み。
- 8日06:00までの24時間に予想される雨量は次のとおり。

九州北部地方	250ミリ
九州南部	150ミリ
四国地方、中国地方	100ミリ
- これまでに記録的な大雨となっている九州北部地方を中心に、西日本では土砂災害に厳重に警戒、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒。落雷や竜巻などの激しい突風に注意。

### 2. 政府の主な対応

7月3日 12:30 関係省庁災害警戒会議

16:46 情報連絡室設置

7月5日 11:30 関係省庁災害対策会議

18:46 官邸連絡室へ改組

18:56 総理指示

1. 早急に被害状況を把握すること
2. 地方自治体とも緊密に連携し、人命を第一に、政府一体となって、被災者の救命・救助等の災害応急対策に全力で取り組むとともに、住民の避難支援

等の被害の拡大防止の措置を徹底すること

3. 国民に対し、避難や大雨・河川・浸水の状況等に関する情報提供を適時的確に行うこと

- 19:15 関係省庁局長級会議  
19:41 官邸対策室へ改組  
20:08 緊急参集チーム協議  
20:30 官房長官会見
- 7月6日 06:25 内閣府情報先遣チーム出発（派遣先：福岡県庁、大分県庁）  
06:42 官房長官会見  
07:30 関係省庁災害対策会議  
09:00 福岡県・大分県等の大雨に関する関係閣僚会議  
11:18 官房長官会見  
16:30 関係省庁災害対策会議
- 7月7日 08:24 関係省庁局長級会議  
閣議終了後 福岡県・大分県等の大雨に関する関係閣僚会議（予定）

3. 被害状況（未確認情報を含む）

(1) 人的被害（警察庁：7月7日08:00現在）

●死亡6名（福岡県3件4名、大分県2件2名）

（福岡県）

- ・朝倉市杷木林田で発見された男性1名の死亡を確認
- ・朝倉市宮野で発見された男性1名の死亡を確認
- ・朝倉市山田で発見された男女2名の死亡を確認

（大分県）

- ・日田市小野地区の「小野公民館」付近で発見の男性1名の死亡を確認
- ・日田市君迫川において発見した男性1名の死亡を確認

(2) 110番、119番の状況等（警察庁：7月7日08:00、消防庁：7月7日8:00）

●110番件数：福岡県370件、大分県38件

●119番件数：福岡県朝倉市501件（7/5 13:37～7/6 15:30）・東峰村28件（7/5 13:37～7/6 15:30）、大分県111件（7/6 11:20）

(3) 住家被害（消防庁7月7日08:00現在）

都道府県	住家被害（棟）					非住家被害	
	全壊	半壊	一部 破損	床上 浸水	床下 浸水	公共 建物	その他
福岡県	7	7	14	21	109		
熊本県			1	3	15		

大分県	1		3	2	7		
合計	8	7	18	26	131		

(4) 避難状況（消防庁 7月7日 06:00 現在）

都道府県	避難指示（緊急）		避難勧告	
	対象 世帯数	対象 人数	対象 世帯数	対象 人数
福岡県	30,393	78,863	29,652	63,721
熊本県	315	754	25,658	63,960
大分県	17,145	50,090	5,084	12,528
合計	47,853	129,707	60,394	140,209

(5) 原発関係（原子力規制庁：7月7日 08:00 現在）

- 九州電力玄海原発・川内原発、四国電力伊方原発において、施設等の異常なし

(6) ライフライン等の状況

- 電力関係（経済産業省：7月7日 07:50 現在）

- ・停電 約 2,800 戸

福岡県約 2,000 戸（朝倉市及び東峰村）、大分県約 700 戸（日田市）

設備被害状況：夜明ダム（日田市）の管理所が損壊（運転には支障なし）

- 水道関係（厚生労働省：7月7日 07:00 現在）

- ・断水 福岡県 3 市町村（添田町、朝倉市、東峰村）で 2,311 戸、大分県 1 市（日田市）で 512 戸

- ガス関係（経済産業省：7月7日 01:20 現在）

- ・被害情報なし

- 通信関係（総務省：7月7日 07:00 現在）

【固定電話】

- ・NTT 西日本：福岡県（朝倉市、東峰村の一部）で約 1,220 回線、大分県（日田市の一部）で約 245 回線が使用できない状況

【携帯電話】

- ・NTT ドコモ：28 局が停波（福岡県朝倉市及び東峰村の一部 14 局、長崎県 1 局、熊本県 1 局、大分県 12 局）

- ・KDDI：15 局が停波（福岡県朝倉市及び東峰村の一部 9 局、長崎県 3 局、大分県 3 局）

- ・ソフトバンク：46 局が停波（福岡県朝倉市及び東峰村の一部 23 局、佐賀県 3 局、長崎県 7 局、熊本県 2 局、大分県 11 局）

## (7) 交通関係

### ①鉄道関係（国土交通省：7月7日07:00現在）

- ・在来線3事業者8路線で運転休止
- ・久大線光岡駅～日田駅間で橋梁流失
- ・長崎線肥前白石駅～肥前竜王駅間において冠水

### ②道路関係

#### ●道路啓開の状況（国土交通省：7月6日12:05現在）

- ・国道211号啓開状況（東峰村に通じる国道）  
南側ルート：宝珠山庁舎までは通行可。引き続き、土砂撤去作業中。本日中に通行可能見込み。  
北側ルート：小石原庁舎より南3km程度に2台の大型車が道路を閉塞しており、対策により撤去予定

#### ●道路の通行止め等の状況（国土交通省：7月7日07:00現在）

- ・高速道路 5路線6区間で雨量規制等による通行止
- ・直轄国道 通行止めなし
- ・補助国道 10区間で被災による通行止
- ・都道府県・政令市道 64区間で被災による通行止

## (8) 河川関係（国土交通省：7月7日07:00現在）

### [直轄河川]

現在、氾濫危険水位を超えている河川はなし

#### ●溢水

- ・山国川 大分県中津市、調査中（左岸20.1km）
- ・小石原川 福岡県大刀洗町、調査中（左岸0.2km）
- ・花月川 大分県日田市、調査中（左岸1.8km）
- ・花月川 大分県日田市、調査中（2.7km JR久大線「鉄道橋」流失）
- ・花月川 大分県日田市、調査中（右岸5.9km 坂本橋条件護岸流失）
- ・彦山川 福岡県田川郡添田町、調査中（左岸31.0km 旧ドライブイン流失）
- ・彦山川 福岡県田川郡添田町、調査中（左岸34.1km 廃屋1戸流失）
- ・彦山川 福岡県田川郡添田町、調査中（左岸34.2km 旧彦山橋流失）

### [県管理河川]

現在、氾濫危険水位を超えている河川はなし

#### ●溢水

- ・大肥川（大分県日田市） 調査中
- ・有田川（大分県日田市） 調査中

#### ●水害原因調査中

- ・大刀洗川（福岡県大刀洗町） 調査中
- ・陣屋川（福岡県大刀洗町） 調査中
- ・荷原川（福岡県朝倉市） 調査中
- ・赤谷川（福岡県朝倉市） 調査中

- ・黒川（福岡県朝倉市） 調査中
- ・乙石川（福岡県朝倉市） 調査中
- ・桂川（福岡県朝倉市） 調査中
- ・妙見川（福岡県朝倉市） 調査中

(9) ダム関係（国土交通省：7月6日 07:40 現在）

●夜明ダム

- ・ゲート開放に移行

(10) 土砂災害（国土交通省：7月7日 07:00 現在）

●土石流等

- ・7件（福岡県東峰村2件、朝倉市2件、大分県日田市1件、中津市1件、熊本県南小国町1件）

●がけ崩れ

- ・31件（福岡県5件、熊本県6件、大分県4件、長崎県16件）

#### 4. 救助活動等の状況

●警察庁

<7月7日の活動予定>

- ・約4,130人（福岡約2,630人、大分約1,500人）、ヘリ12機（福岡6機、大分6機）が活動予定

<活動状況 7月7日 09:00 現在>

- ・福岡県警のヘリ3機が活動（2機ヘリテレ、1機救助）

●消防庁

<7月7日の活動予定>

- ・約4,000人、ヘリ13機（福岡7機、大分6機）が活動予定  
うち、地元消防団1043名（福岡県）、812名（大分県）が活動予定

<活動状況 7月7日 07:50 現在>

- ・福岡市及び岡山県のヘリ2機が飛行中

●海上保安庁（巡視船及び航空機等）

<7月7日の活動予定 07:30 現在>

- ・約170人、固定翼航空機2機（1機対応、1機待機）、回転翼航空機6機（3機対応、3機待機）が活動予定

<活動状況 7月7日 09:00 現在>

対応中：巡視船2隻・巡視艇2隻

待機中：巡視艇6隻、固定翼航空機2機・回転翼航空機6機

●防衛省（災害派遣）

<7月7日の活動予定 07:30 現在>

- ・ 約4,000人、ヘリ14機が活動予定

<活動状況 7月7日 08:10 現在>

- ・ 6機が人命救助、2機がヘリ映像伝送を実施

※ 災害派遣の概要

- ・ 福岡県：7月5日 19:00 県知事から要請
- ・ 大分県：7月5日 19:30 県知事から要請

## 5. 各省庁等の対応

● 警察庁（7月6日 13:30 現在）

- 7月5日 17:35 近畿、中国、四国及び九州各管区局内の広域緊急援助隊に待機指示
- 18:46 警備課長を長とする災害警備連絡室に改組
- 19:41 警備局長を長とする災害警備本部に改組
- 20:00 熊本県及び宮崎県の広域緊急援助隊に出動を指令
- 20:28 長崎県及び佐賀県の広域緊急援助隊に出動を指令

● 消防庁（7月6日 09:30 現在）

- 7月5日 05:55 消防庁災害対策室設置（第1次応急体制）
- 17:51 消防庁災害対策本部設置（第2次応急体制）
- 19:55 福岡県、佐賀県、熊本県、宮崎県に対し、緊急消防援助隊の出動可能隊数の報告及び出動準備を依頼
- 20:00 愛知県に対し、緊急消防援助隊（全地形対応車を含む部隊）の出動可能隊数の報告及び出動準備を依頼
- 20:45 現地活動支援のため、消防庁職員を福岡県へ4名、大分県へ4名の派遣を決定
- 7月6日 05:25 消防庁職員を福岡県へ6名、大分県へ6名を派遣
- 08:00 消防庁災害対策本部設置（第3次応急体制）

● 厚生労働省（7月7日 07:00 現在）

（DMATの状況）

- ・ 福岡県内で9隊が活動中
- ・ 引き続き災害拠点病院（福岡県30病院、大分県13病院）に対していつでも派遣できるよう準備を依頼

（DPATの状況）

- ・ 福岡県で2隊が待機中
- ・ 大分県で1隊が待機中

● 経済産業省（7月7日 07:50 現在）

- 7月6日 09:45 各局の主任防災担当官により構成される経済産業省防災連絡会議を開催
- 16:40 ・福岡県朝倉市及び朝倉郡東峰村、並びに大分県日田市及び中津市に災害救助法が適用されたことを踏まえ、以下の被災中小企業・小規模事業者対策をプレスリリース
- ①特別相談窓口の設置
  - ②災害復旧貸付の実施
  - ③セーフティネット保証4号の実施
  - ④既往債務の返済条件緩和等の対応
  - ⑤小規模企業共済災害時貸付の適用
- ・災害救助法の適用を踏まえ、九州電力の要請に対し、以下の措置を講ずることを認可
- ①電気料金の不払期限の延長
  - ②電気の不使用月の料金免除 等
- 7月7日 08:00 6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る政府調査団に5名の職員を派遣

● 国土交通省（7月7日 07:00 現在）

- ・リエゾン派遣：のべ73名派遣
- ・排水ポンプ車23台、照明車19台、衛生通信車2台、衛星通信装置3台を派遣中
- ・TEC-FORCEを福岡県・大分県内の被災地に派遣（のべ195人・日派遣）

● 気象庁（7月7日 08:00 現在）

- 7月5日 17:51 福岡県大雨特別警報発表  
19:00 記者会見  
19:55 大分県大雨特別警報発表  
21:00 記者会見
- 7月6日 14:10 福岡県、大分県の特別警報解除  
15:30 記者会見

● 海上保安庁（7月7日 07:30 現在）

- 7月5日 17:55 福岡県ヘリエゾン2名派遣  
17:55 第七管区海上保安本部対策室を設置  
19:41 海上保安庁対策室を設置  
海上保安庁対策本部へ改組  
第七管区海上保安本部対策室を対策本部へ改組
- 19:45 大分県ヘリエゾン2名派遣  
20:55 福岡航空機基地にて回転翼航空機待機済み  
23:55 海の安全情報発出（有明海）

7月6日 07:00 福岡県ヘリエゾン2名追加派遣  
08:03 地域航行警報発出（6日12:20、18:45にも発出）  
10:20 海の安全情報（大分県沿岸部）  
12:25 海の安全情報（瀬戸内海）  
12:57 NAVTEX 航行警報発出（6日19:45にも発出）  
15:30 熊本県ヘリエゾン2名派遣  
16:00 海の安全情報（若宮）

● 環境省（7月7日08:00現在）

7月6日 福岡県災害対策本部へ廃棄物処理の専門家を派遣  
福岡県朝倉市に現地支援チームを派遣  
災害廃棄物処理に関する事務連絡を発出

● 防衛省（7月6日13:00現在）

7月5日 18:46 防衛省災害対策連絡室設置  
19:00 福岡県知事から陸自第4師団長（福岡）に対し、災害派遣要請  
19:30 大分県知事から第4戦車大隊長に対し、災害派遣要請  
19:41 防衛省災害対策室へ改組

● 福岡県、大分県（内閣府（防災）7月5日付）

福岡県は朝倉市、東峰村に、大分県は日田市、中津市に災害救助法の適用を決定